報道発表資料

平成24年9月6日
独立行政法人国民生活センター

全国の商品テスト概要

国民生活センターでは、全国の消費生活センターで実施された「苦情処理テスト(注1)」、「商品テスト（比較・試買テスト）(注2)」の実態を調査している。

都道府県中央センター、一部支部センター、政令指定都市センター、市町村センターなど計955センターを対象に調査票を郵送。対象955センターの内、869センターが回答（回収率91.0%)。

(注1) 消費者からの消費生活に係る苦情相談について、原因を究明するもの
(注2) 複数の商品について、品質・性能等、さまざまな角度から比較し、評価を行うもの

１．苦情処理テスト

2011年度に全国の消費生活センター及び国民生活センターで実施された苦情処理テストの総件数は1752件であった。苦情処理テストの総件数は2010年度より270件増加し、18.2%増であった（表1)。

苦情処理テストを実施したセンター数は都道府県48センター、政令指定都市16センター、市区町村161センター及び国民生活センターの合計226センターであった。

表1 テスト件数の推移

年度	苦情処理テスト			商品テスト		
	総件数	対前年度増加率(%)	実施機関数	総件数	対前年度増加率(%)	実施機関数
2005	1,453	6.3	129	86	△15.7	32
2006	1,110	△23.6	139	75	△12.8	25
2007	1,186	6.8	129	62	△17.3	22
2008	1,386	16.9	140	56	△ 9.7	19
2009	1,395	0.6	141	53	△ 5.4	19
2010	1,482	6.2	181	59	11.3	26
2011	1,752	18.2	226	49	△ 16.9	21

（１） 商品分類別件数（表 2）

「住居品」が 500 件(28.5%)と最も多く、次いで「被服品に関するクリーニング」306 件(17.5%)、「被服品」224 件（12.8%)、「食料品」211 件（12.0%）であった。この 4 種類で約 70%を占めており、これらに続いて「教養娯楽品」「保健衛生品」「車両・乗り物」「土地・建物・設備」の順であった。

表 2 苦情処理テスト件数

商品別分類 / 実施機関	食料品	住居品	被服品	保健衛生品	教養娯楽品	車両・乗り物	光熱水品	土地・建物・設備	その他の商品	クリーニング（被服品）	クリーニング（その他）	合計
都道府県センター	157	189	127	45	82	25	14	11	11	191	8	860
政令指定都市センター	8	79	22	14	9	8	3	8	2	44	2	199
市区町村センター	37	153	55	38	52	36	8	13	3	71	2	468
国民生活センター	9	79	20	37	35	31	7	6	1	0	0	225
合　計	211	500	224	134	178	100	32	38	17	306	12	1752
※下段は総件数に占める比率	12.0%	28.5%	12.8%	7.6%	10.2%	5.7%	1.8%	2.2%	1.0%	17.5%	0.7%	100.0%

＊国民生活センターの件数は、消費生活センター等からの依頼によるもの

（２） 外部依頼件数（表 3）

テストの効率化や処理能力を持たないなどの理由で、外部機関への依頼により処理された苦情処理テスト件数は、総件数 1752 件のうち 789 件であった。また、国民生活センター実施分 225 件を除く苦情処理テスト件数合計 1527 件における外部依頼の割合は、51.7%であった。

商品分類別に見ると、「住居品」が 282 件と最も多く、次いで「被服品に関するクリーニング」118 件、「教養娯楽品」92 件の順であった。外部依頼依存率は「車両・乗り物」が 89.9%、「土地・建物・設備」が 81.3%と続いている。

表 3 苦情処理テスト外部依頼件数

商品別分類 / 実施機関	食料品	住居品	被服品	保健衛生品	教養娯楽品	車両・乗り物	光熱水品	土地・建物・設備	その他の商品	クリーニング（被服品）	クリーニング（その他）	合計
都道府県センター	3	84	16	16	34	18	6	6	0	16	2	201
政令指定都市センター	1	46	11	11	7	8	3	7	0	32	1	127
市区町村センター	36	152	55	35	51	36	8	13	3	70	2	461
合　計	40	282	82	62	92	62	17	26	3	118	5	789
＊苦情処理テスト件数合計	202	421	204	97	143	69	25	32	16	306	12	1527
※下段は苦情処理テスト件数合計に占める比率	19.8%	67.0%	40.2%	63.9%	64.3%	89.9%	68.0%	81.3%	18.8%	38.6%	41.7%	51.7%

＊外部依頼件数は、国民生活センターへの依頼を含む

（3） 苦情処理テスト内容（表 4）

苦情処理テストの内容を「危害に関するもの」、「危険に関するもの」、「その他品質・性能等」の 3 項目に分類すると、「その他品質・性能等」が 1061 件（60.6%）と最も多く、「危害に関するもの」353 件（20.1%）、「危険に関するもの」338 件（19.3%）の順であった。

商品分類別に「危害に関するもの」「危険に関するもの」の割合を見ると、「車両・乗り物」が 76.0%、次いで「住居品」が 62.0%、「保健衛生品」が 61.2%の順であった。

表 4 商品分類別苦情処理テストの内容

テスト内容 / 商品別分類	危害に関するもの	危険に関するもの	その他品質・性能等	合　　計
食　料　品	15 (7.1 %)	8 (3.8 %)	188 (89.1 %)	211 (100 %)
住　居　品	127 (25.4 %)	183 (36.6 %)	190 (38.0 %)	500 (100 %)
被　服　品	46 (20.5 %)	6 (2.7 %)	172 (76.8 %)	224 (100 %)
保健衛生品	56 (41.8 %)	26 (19.4 %)	52 (38.8 %)	134 (100 %)
教養娯楽品	44 (24.7 %)	55 (30.9 %)	79 (44.4 %)	178 (100 %)
車両・乗り物	42 (42.0 %)	34 (34.0 %)	24 (24.0 %)	100 (100 %)
光熱水品	6 (18.8 %)	13 (40.6 %)	13 (40.6 %)	32 (100 %)
土地・建物・設備	10 (26.3 %)	12 (31.6 %)	16 (42.1 %)	38 (100 %)
その他の商品	5 (29.4 %)	1 (5.9 %)	11 (64.7 %)	17 (100 %)
クリーニング (被服品)	1 (0.3 %)	0 (0.0 %)	305 (99.7 %)	306 (100 %)
クリーニング (その他)	1 (8.3 %)	0 (0.0 %)	11 (91.7 %)	12 (100 %)
合　　計	353 (20.1 %)	338 (19.3 %)	1061 (60.6 %)	1,752 (100 %)

＊()内は各商品分類に占める比率

2． 商品テスト（比較・試買テスト）（表 5・図）

2011 年度に全国の消費生活センター及び国民生活センターで実施された商品テスト（比較・試買テスト）の総件数は 49 件であった。商品テストの総件数は 2010 年度より 10 件減少し、16.9%減となっている（表 1）。

商品テストを実施したセンター数は都道府県 8 センター、政令指定都市 3 センター、市区町村 9 センター及び国民生活センターの合計 21 センターであった。

（1） 商品分類別件数（表 5・図）

「住居品」が 16 件（32.7%）と最も多く、「食料品」13 件（26.5%）、「保健衛生品」8 件（16.3%）

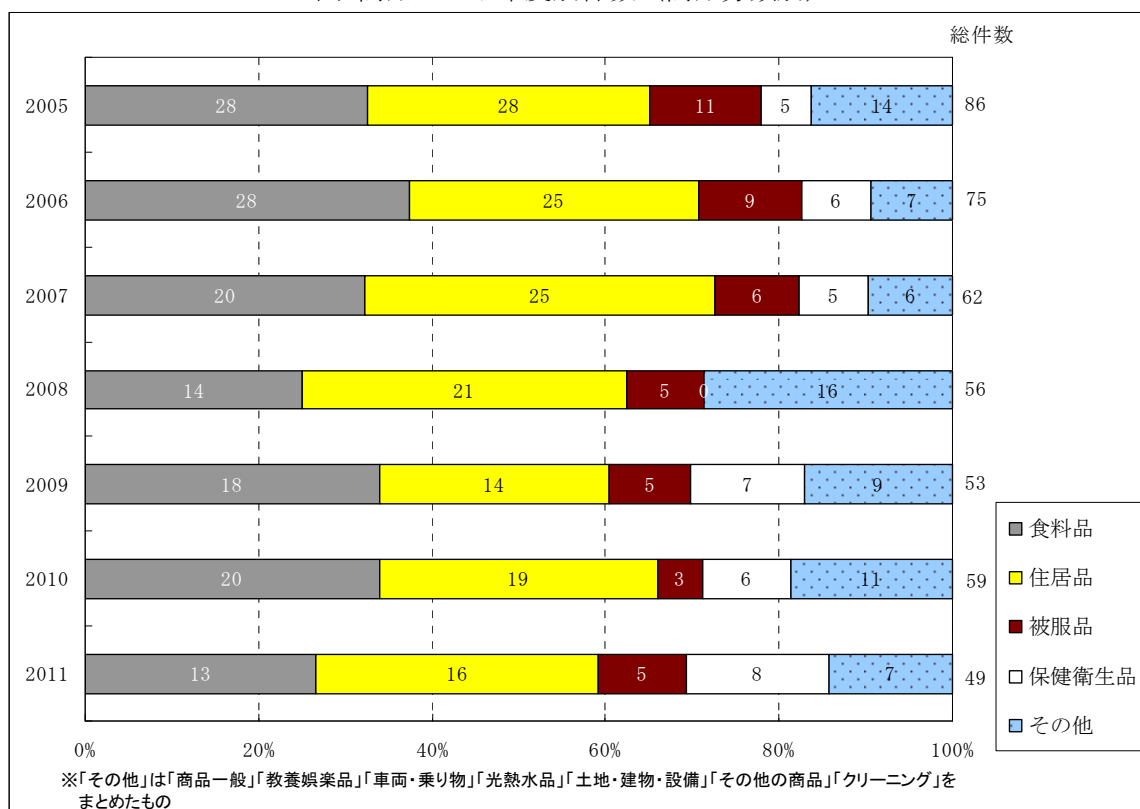
と続いた。この 3 種類で約 75%を占めており、これらに続いて「被服品」「教養娯楽品」「光熱水品」「車両・乗り物」「土地・建物・設備」の順番であった。

機関別に実施状況を見ると、都道府県では、「住居品」が 9 件(45.0%)、「食料品」5 件(25.0%)でこの 2 種類で約 70%となっている。政令指定都市では、「住居品」「被服品」「教養娯楽品」がそれぞれ 1 件ずつであった。市区町村では、「食料品」が 7 件で、約 46%を占めている。

テストの効率化と相互の技術の向上・交流を図る有効な手段として各消費生活センター間で共同比較テストが行われているケースもある。2011 年度に行われた消費生活センター間の共同比較テストは、「卓上式電磁調理器」(富山県・石川県・福井県の北陸 3 県)である。

表 5 商品テスト件数

商品別分類 / 実施機関	商品一般	食料品	住居品	被服品	保健衛生品	教養娯楽品	車両・乗り物	光熱水品	土地・建物・設備	その他の商品	クリーニング	合計
都道府県センター	0	5	9	1	2	1	0	2	0	0	0	20
政令指定都市センター	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3
市区町村センター	0	7	3	1	3	0	0	0	1	0	0	15
国民生活センター	0	1	3	2	3	1	1	0	0	0	0	11
合　計	0	13	16	5	8	3	1	2	1	0	0	49
※下段は総件数に占める比率	0.0%	26.5%	32.7%	10.2%	16.3%	6.1%	2.0%	4.1%	2.0%	0.0%	0.0%	100%

図 商品テスト年度別件数（商品分類別）

○情報提供先

消費者庁地方協力課

消費者委員会事務局

本件問い合わせ先

商品テスト部：042-758-3165

参考資料

１．機関別テスト実施状況（件数）

（１）都道府県センター

機関名	苦情処理テスト	商品テスト
北海道	161	5
青森県	7	0
岩手県	0	1
宮城県	0	0
秋田県	2	0
山形県	3	0
福島県	2	0
茨城県	12	0
栃木県	90	0
群馬県	30	0
埼玉県	66	0
千葉県	18	0
東京都	111	0
神奈川県	12	3
新潟県	6	0
富山県	13	1
石川県	33	3
福井県	21	2
山梨県	1	0
長野県	0	0
岐阜県	3	0
静岡県	3	3
愛知県	39	0
三重県	1	0
滋賀県	5	0
京都府	19	0

機関名	苦情処理テスト	商品テスト
大阪府	6	0
兵庫県立 健康生活科学研究所	54	2
兵庫県中播磨 消費生活創造センター	3	0
兵庫県但馬 消費生活センター	4	0
兵庫県東播磨 消費生活センター	2	0
兵庫県西播磨 消費生活センター	1	0
奈良県	37	0
和歌山県	4	0
鳥取県	1	0
島根県	9	0
岡山県	3	0
広島県	8	0
山口県	1	0
徳島県	1	0
香川県	2	0
愛媛県	4	0
高知県	7	0
福岡県	4	0
佐賀県	1	0
長崎県	6	0
熊本県	22	0
大分県	2	0
宮崎県	11	0
鹿児島県	1	0
沖縄県	8	0
（合計）	860	20

（２）政令指定都市センター

機関名	苦情処理テスト	商品テスト
札幌市	0	1
仙台市	1	0
さいたま市	11	0
千葉市	1	0
横浜市	37	1
川崎市	4	0
相模原市	3	0
新潟市	2	1
静岡市	1	0
浜松市	0	0
名古屋市	32	0

機関名	苦情処理テスト	商品テスト
京都市	0	0
大阪市	23	0
堺市	6	0
神戸市	16	0
岡山市	0	0
広島市	15	0
北九州市	3	0
福岡市	43	0
熊本市	1	0
（合計）	199	3

（３）市区町村センター

機関名	苦情処理テスト	商品テスト
函館市	0	1
小樽市	4	0
釧路市	1	0
帯広市	2	3
苫小牧市	2	1
江別市	2	1
千歳市	1	0
富良野市	1	0
ようてい地域	1	0
浦河町	1	0
本別町	0	1
青森市	2	0
五所川原市	1	0
秋田市	1	0
福島市	1	0
水戸市	1	0
古河市	1	0
那珂市	1	0
宇都宮市	7	0
足利市	1	0
佐野市	2	0
日光市	1	0
下野市	1	0
前橋市	1	0
大泉町	1	0
熊谷市	2	0
川口市	1	0
所沢市	1	0
狭山市	2	0
上尾市	8	0
草加市	1	0
越谷市	3	0
蕨市	1	0
戸田市	1	0
朝霞市	2	0
新座市	4	0
久喜市	3	0
北本市	1	0
八潮市	1	0
富士見市	2	0
三郷市	1	0
坂戸市	2	0
鶴ヶ島市	2	0
ふじみ野市	1	0
小川町	1	0
市川市	2	0
船橋市	1	0
木更津市	2	0
松戸市	3	0
成田市	1	0
佐倉市	3	0
習志野市	1	0
柏市	8	0
市原市	1	0
流山市	2	0

機関名	苦情処理テスト	商品テスト
八千代市	4	0
浦安市	2	0
八街市	2	0
富里市	1	0
中央区	1	0
港区	13	0
新宿区	3	1
文京区	2	0
台東区	20	0
墨田区	7	0
江東区	8	0
目黒区	7	0
大田区	4	0
世田谷区	6	0
中野区	5	0
杉並区	14	0
豊島区	0	1
北区	8	0
板橋区	2	0
練馬区	5	0
足立区	4	0
葛飾区	1	0
江戸川区	7	0
三鷹市	1	0
昭島市	3	0
町田市	3	0
小平市	1	0
清瀬市	7	0
東久留米市	2	0
稲城市	1	0
横須賀市	2	0
鎌倉市	2	0
藤沢市	7	0
小田原市	1	0
茅ヶ崎市	6	0
厚木市	3	0
大和市	1	0
海老名市	1	0
射水市	1	0
金沢市	1	0
福井市	4	0
敦賀市	1	1
勝山市	1	0
越前市	5	0
坂井市	2	0
岐阜市	4	0
島田市	3	0
藤枝市	1	0
袋井市	1	0
岡崎市	1	0
一宮市	1	0
豊田市	2	0
小牧市	3	0
津市	3	0
桑名市	1	0

機関名	苦情処理テスト	商品テスト
大津市	2	0
近江八幡市	1	0
草津市	2	0
守山市	1	0
野洲市	1	0
福知山市	2	0
相楽地域	2	0
岸和田市	2	0
池田市	2	0
吹田市	5	0
泉大津市	1	0
高槻市	3	0
守口市	7	0
枚方市	10	0
茨木市	6	0
寝屋川市	11	5
松原市	1	0
大東市	1	0
箕面市	4	0
門真市	1	0
高石市	1	0
藤井寺市	1	0
東大阪市	2	0
四條畷市	1	0
姫路市	4	0
尼崎市	9	0
明石市	2	0
西宮市	12	0
芦屋市	9	0
宝塚市	3	0
三田市	1	0
播磨町	1	0
奈良市	8	0
大和高田市	6	0
生駒市	6	0
鳥取市	1	0
米子市	2	0
松江市	1	0
出雲市	1	0
福山市	5	0
府中町	1	0
下関市	2	0
山口市	1	0
光市	1	0
鳴門市	1	0
松山市	3	0
新居浜市	1	0
西予市	1	0
高知市	5	0
久留米市	1	0
小城市	2	0
南島原市	1	0
大分市	1	0
鹿児島市	3	0
（合計）	468	15

２．商品分類別商品テスト一覧

（１）食料品

	件　　名	テストのねらいまたはテスト項目	実施センター
食料品一般	試買量目調査	(豚肉、魚の切身(鮭)、長芋、たらこ、バナナ)5品目を市内19店舗より購入し、(社)北海道計量協会の検査員立会いのもと、計量を実施。結果は市の商店街振興組合連合会を通じ各店舗に伝え、指導を依頼	江別市
	商品量目試買調査	食料品を対象に合理的で安全な消費生活のあり方を啓発し、消費生活安定向上を目的に実施	本別町
魚介類	マグロを主原料とする加工品	総水銀量、表示	北海道
	いか塩辛	塩分	函館市
野菜・海草	トマトの糖含有量	糖組成、糖含有量、官能試験(甘味、酸味など)	北海道
	梅干	スーパーマーケットで販売されている梅干しや調味梅干し、地元で販売されている地場産の梅干し、消費者団体会員の自家製梅干しの塩分、合成着色料等をテスト	福井県
	植物工場で生産されたリーフレタスの栄養成分分析	植物工場で生産されたリーフレタスの栄養成分(基礎成分、ビタミン類、ミネラル類)を分析し、その特徴を解析	帯広市
	ハウス栽培と一般栽培のホウレン草の栄養成分比較	加温区栽培と無加温区栽培のホウレン草について栄養成分(ミネラル成分、硝酸態窒素)を分析し特徴を比較	帯広市
	植物工場で生産されたホウレン草の栄養成分分析	植物工場で生産されたホウレン草の栄養成分(基礎成分、ビタミン類、ミネラル類)を分析し、その特徴を解析	帯広市
油脂・調味料	マヨネーズの油脂・塩分・糖分の含有量テスト	健康管理上、購入する場合の基準として、メーカー4社10種類の商品について油脂・塩分・糖分の含有量の比較測定、併せて味覚も確認。油脂については、北海道消費生活センター商品テスト部に依頼	苫小牧市
菓子類	菓子中のアクリルアミド	こどものおやつとして人気の高いスナック菓子を中心とした菓子類を対象として、アクリルアミド含有量を調査	静岡県
健康食品	コエンザイムQ10サプリメント	コエンザイムQ10サプリメント中のコエンザイムQ10含有量とコエンザイムQ10と併せて配合されているビタミンE含有量を調査し、サプリメントの利用に関する留意点を調査	静岡県
	胎児の正常な発育に役立つ「葉酸」を摂取できるとうたった健康食品	妊娠を計画している女性等が、錠剤等の形態の葉酸が摂れることをうたっている健康食品(栄養機能食品を含む)を利用する際に、必要な量を適切に摂取できることが望ましい。そこで、葉酸含有量が表示通りであるか等を調査	国民生活センター

（２）住居品

	件　　名	テストのねらいまたはテスト項目	実施センター
食生活機器	卓上式電磁調理器	電磁調理器は、安全性が高く高齢者にも安心して使用できる調理器として注目されており、店頭には様々な機種が並べられている。その一方で、使用中に白煙が出たり、火災に至った事例も発生している。そこで、北陸3県のセンター共同で、卓上型電磁調理器の表示、構造・仕様等、性能、安全性等についてテストを実施	*富山県 *石川県 *福井県
	電気ジャー炊飯器	テスト対象：価格帯や炊飯タイプの異なる機種5台 テスト項目：価格・取扱説明書の有無・注意喚起、警告などの表示の有無・炊飯時間・消費電力量・品質表示・取扱い上の注意・味・使い勝手	横浜市
	炊飯ジャーの保温臭について	「炊き上がった時点」「保温3～4時間」「保温6～7時間」「翌朝」に蒸気口からの臭いと「フタを開けた時の内釜の臭い」「ご飯の臭い」「ご飯の食味」についてテスト	敦賀市
	電気炊飯ジャー	保温すると乾燥してご飯が食べられないという相談内容を確認するため	寝屋川市
	システムキッチンのステンレスシンクのさびに注意！	ステンレスシンク仕様のシステムキッチンについて、材質やさびやすさを調べるとともに、さびを防止するためのステンレスシンクの取り扱いについて消費者へ情報提供	国民生活センター
食器・台所用品	食品容器の変形調査	電子レンジを使用して食品を加熱する際、何度でプラスチック製容器が変形するかを調査。JIS2029プラスチック製食品類の耐熱性試験に基づき、電子レンジで加熱を行い変形する温度を確認	神奈川県
	シリコーン製食品調理器具の安全性調査	シリコーン製食品調理器具について、JIS2029プラスチック製食品類の耐熱性試験に基づく加熱試験、加熱時に発生する物質の分析等を実施し、安全性について調査	神奈川県
	ポット型浄水器	ポット型浄水器のろ過性能やろ材成分の安全性等を調査。 項目は①表示事項等②ろ材成分③浄水能力④ろ過液量⑤けんだく物質⑥使用性	石川県

食器・台所用品	市販シリコン製の調理器具を含む食品用プラスチックの安全性の実態	アセチルアセトン法によるホルムアルデヒドなどの検出及び煮沸5分後同条件の抽出液の比較、および原産地の調査	豊島区
洗浄剤等	柔軟剤の適正使用調査	柔軟剤の使用方法を変えることで、洗濯物にシミや変化が生じるかを確認	神奈川県
照明器具	LED電球の特性について(配光、明るさ、省エネ)	LED電球について「真下は明るいが周辺は暗い」、「表示が60W形相当とあったが暗い」、「メーカーにより規格や大きさがバラバラでわかりにくい」などの苦情があったことから、LED電球と白熱電球、電球形蛍光灯を試買し、LED電球の特性をテスト	兵庫県立健康生活科学研究所
他の住居品	保冷剤の比較テスト	一般家庭用に販売される保冷剤に近頃「-16℃」などマイナス温度帯で凍結するものが増えている。しかし、「よく冷えると書いてあったのに通常の保冷剤より冷えない」という苦情があったことから、保冷剤を試買し、保冷性能の比較テストを実施	兵庫県立健康生活科学研究所
	住宅用火災警報器の設置について	既存住宅への住宅用火災警報器の設置期限を迎えるにあたり、煙式の住宅用火災警報器について、設置環境が感知に及ぼす影響や警報音について調査	国民生活センター
	家庭用電動工具の使い方に注意！	今まで電動工具に接していなかった消費者やこれから使おうと思っている消費者の事故の未然防止を図るために、具体的な事例を基に電動工具の使用時の注意を情報提供	国民生活センター

（３）光熱水品

	件　　名	テストのねらいまたはテスト項目	実施センター
他の光熱水品	防災用電池(水電池)	回路電圧、JISによる持続時間、低温試験、水以外での起電力、寸法、重さ、使用性能、経済性、表示	北海道
	充電式単三電池	回路電圧、JISによる持続時間、低温試験、機器による持続時間、充電にかかる消費電力量、価格、表示	北海道

（４）被服品

	件　　名	テストのねらいまたはテスト項目	実施センター
紳士洋服	家庭用洗濯機で洗える紳士用スーツ	耐洗濯性(外観保持性、寸法変化率、変退色、縫製、乾燥性、表示、価格)	北海道
	紳士用ズボン	洗濯後、収納していた紳士ズボンの変色原因調査のため	寝屋川市
子供洋服	子どもが使用することのあるアクセサリーに関する調査結果(2011年)	調査から1年が経過し、製品の安全確保に向けた各事業者の取り組み状況のフォローアップのため、消費者庁から再び国内に流通している子ども用金属製アクセサリーについて、カドミウム及び鉛の溶出量に関する調査の依頼があったため、市場に出回っている243銘柄について調査を実施した。その結果、カドミウムについては243銘柄全てで、国際標準化機構の玩具規格を超えるものはなかったが、鉛については、食品衛生法の対象外の10銘柄で一定量（90μg/g）を超える溶出が認められた。	国民生活センター
洋装下着	加圧を利用したスパッツ	「加圧を利用したスパッツ」について、姿勢による衣服圧の変化や注意表示などについて調査	国民生活センター
他の身の回り品	軽作業用手袋及び軍手のホルムアルデヒドの測定	軽作業用手袋や軍手に滑り防止のための樹脂加工がされている製品が多くみられ、一般的に樹脂加工に用いられる加工助剤からホルムアルデヒドが検出されることからホルムアルデヒド溶出試験を実施	札幌市

（５）保健衛生品

	件　　名	テストのねらいまたはテスト項目	実施センター
化粧品	化粧品のパラベン含有量	消費者を対象に化粧品による皮膚トラブル経験等についてアンケート調査を実施。また、一般的に防腐剤として使用されているパラベンについて、ファンデーションとほお紅を対象として含有量を調査	静岡県
	ヘアカラートリートメント	汗による移染の有無	新宿区

理美容器具・用品	電気ひげそり器	商品を使うと火傷をするという相談内容の原因調査	寝屋川市
他の保健衛生品	家庭用マスク	インフルエンザの予防・感染防止や花粉症対策として家庭用マスクを着用する方々が多いが、マスクには様々なものがあり、価格差も大きく、どのマスクを購入すべきか消費者にとって選択が難しい。このため、消費者の購入の際の一助となるよう、家庭用マスクについてどのような商品があるかを調べ、購入のポイントや正しい使用方法などについて整理し情報提供	岩手県
	背筋矯正ベルト	アレルギーの原因特定のため	寝屋川市
	比較的安価な放射線測定器の性能	震災以降に放射線測定器に関する相談が急増している。そこで、比較的安価な放射線測定器が放射性セシウムを正しく測定できるかについてテストし、情報提供	国民生活センター
	比較的安価な放射線測定器の性能ー第2弾ー	住民がホットスポットを発見して報道されたり、新機種が市場に投入されるなど、放射線測定器はなお注目を集めている。こうした状況を踏まえ、前回のテストで対象にしていない放射線測定器について追加で調査	国民生活センター
	水でぬらすだけで冷感が得られることをうたったタオル	震災による節電意識の高まりから、「冷感グッズ」の売り上げを伸ばしたことが報道された。「冷感グッズ」のひとつに水でぬらして首等に巻くタオル(「冷感タオル」とする)があり、「湿疹がでた」「赤く腫れた」等苦情相談が複数寄せられ、そのうち3件について調べたところ、アレルギー性の接触皮膚炎を起こすとの報告があるイソチアゾリノン系の防腐剤が検出された。これを背景に「冷感タオル」の防腐剤を調査	国民生活センター

（６）教養娯楽品

	件　　　名	テストのねらいまたはテスト項目	実施センター
音響・映像製品	非常用ラジオ(5種のうち1種は輸入品)	平成22年度末には東日本大震災が起こり、続いて平成23年度は洪水による災害が全国でも発生した。いつ起こるかわからない自然災害に対し、市民はどのようにとらえ、考え、生活しているのか防災に関するアンケート調査と、非常時の情報収集手段としてラジオの使用テストを実施。 項目は①大きさ②重さ③選局のしやすさ④聞きやすさ⑤取り扱い説明書のわかりやすさ⑥価格⑦ライトの明るさ⑧手回しの使い勝手⑨サイレン・ホイッスルの音⑩携帯充電機能	新潟市
	薄型テレビの転倒防止対策の重要性	万一の地震が発生したときに、テレビの地震対策の有無がどのような違いにつながるのかを調べるとともに、消費者、製造事業者、家電量販店を対象にアンケートを実施して地震対策の実態を明らかにし、消費者へ情報提供	国民生活センター
他の教養娯楽品	使い捨てライター	新規制の使い捨てライターの安全性や性能等を調査。 項目は①構造及び外観②警告表示等③押込み力④火炎の高さ⑤消火試験⑥燃料充填量⑦落下試験⑧耐熱性試験等	石川県

（７）車両・乗り物

	件　　　名	テストのねらいまたはテスト項目	実施センター
自転車・用品	子どもを自転車に乗せたときの転倒に注意！	子どもを自転車に乗せて使用する実態について消費者アンケートを実施し、危険を感じた状況を調べるとともに、自転車の押し歩き時、停車時の安定性などをテストし、使用上の注意点を明確にして消費者に情報提供	国民生活センター

（８）土地・建物・設備

	件　　　名	テストのねらいまたはテスト項目	実施センター
衛生設備	洗面化粧台の鏡	ソルベントクラックが発生、その原因物質の究明	寝屋川市

*印は共同比較（試買）テスト

<title>全国の商品テスト概要</title>